**タイトル［ゴシック／太字／１４ポイント／中央揃え］**

－副題（サブタイトル）［明朝／普通／１２ポイント／中央揃え／前後をダッシュで囲む］－

筆頭　著者・共著者　一人1)・明朝　普通1)・中央　揃2)

姓12　ﾎﾟｲﾝﾄ2)・姓六　名六3)＊

 岡山理科大学理学部応用数学科

1)岡山理科大学大学院理学研究科修士課程応用数学専攻

2)岡山理科大学総合情報学部数理情報学科

3)岡山理科大学工学部情報工学科［明朝／普通／８ポイント］

０．簡単な説明

　このファイルは、岡山理科大学紀要原稿（和文・１段組）作成用の書式サンプルファイルです。大まかな説明を書いておきます。

　まず、このファイルを「文書テンプレートファイル」として保存し、新規文書でそのテンプレートファイルを利用することをお勧めします。

 論文作成時は、０章をまず削除した後、論題や著者名や本文などを該当部分に入力して、不要部分を削除して下さい。

 また、各部の様式に対応したスタイルを定義してありますので、新たに書式指定する場合にご利用下さい。ちなみにスタイル名は「紀要和××」のような名前を使用しており

　　章の題名部分＝紀要和章題

　　章の細目となる節などの小項目

　　　　　　　　＝紀要和項目題

　　論文の本文　＝紀要和本文

などがあります。

 副題は必須ではありませんので、必要な場合に記入して下さい。

０－１　書式について

　本文では、以下の点に注意して下さい。次項より使用する文字の種類（フォント／太さ／大きさ）、段組、その他の順で説明を記載しています。

０－２　文字の種類

　本文には、次の文字を使用して下さい。

　　・フォント　：　明朝

　　・字の太さ　：　普通または標準

　　・大きさ　　：　９ポイント

０－３　段組について

　本文は、１段組または２段組で記載して下さい。（この例は２段組で作成しています。）１ページの文字数と行数は下記の書式を使用して下さい。

　・１段組の場合　：　１行４８文字＊４８行

　・２段組の場合　：　１行２４文字＊４８行＊２段

０－４　章題・項目題の空白行の位置について

　章題の直前の行は空白行として下さい。

　章題と項目題の間には空白行を入れないで下さい。項目題の直前が章題でない場合のみ、項目題の直前の行を空白行として下さい。

０－５　禁則処理について

　可能であれば、句読点や」）］などを行頭に置かない、あるいは、「（［などを行末に置かない、などの禁則処理をして下さい。

 ワープロにある禁則処理機能の使用をお薦めします。ちなみに、前の行は禁則処理され２５文字目の「。」が、次行に送られずに行末に残っています。

０－６　標題部について

　論題・著者名・著者の所属についての書式は、上記のフォント／太さ／大きさに合わせて下さい。各々の間に入っている空白行の数も、上記に合わせて下さい。

０－７　上下左右の余白について

　上端より３．５ｃｍ、下端より３ｃｍ、左端右端より２．５ｃｍの余白を取って下さい。

０－８　図・写真について

　図や写真は原稿中に作成して下さい。（別途添付することも可能ですが、その場合は原稿中の該当位置を空白とし、図・写真の番号及び説明文をその空白の下に記載して下さい（この例は、写真は別添の場合のものです）。番号及び説明の大きさは、９ポイントです。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 入力信号  |  |  |  |  |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  出力信号 |  |  |  |  |

図１ 入出力の関係[9pt]　　写真１　評価装置[9pt]

原則として図や写真の番号はアラビア数字による連続した続き番号を使用して下さい。

０－９　表について

　表は極力小さくし、原則として縦線は入れないで下さい。また、表のタイトルは表の上端中央に記載し、凡例等解説は表の下端に左詰めで記載して下さい。

表１　余白サイズ

 ─────────────────────

 　　　　 　上　　　　下　　　左右

 ─────────────────────

　　　　余　白　　３．５　　３．０　　２．５

 ─────────────────────

 ※単位はｃｍ

０－１０　外字について

　外字の作成が困難な場合は、該当文字数を空白とし、原稿を３部提出して下さい。３部目の原稿に手書き（あるいは辞書の拡大コピーを貼るなど）で該当文字を記入して下さい。できるだけ欄外に大きな文字を書き、該当位置まで線を引くなどの方法をお取り下さい。印刷業者に該当の活字を作成してもらい、印刷時に該当位置に貼り込みます。

０－１１　参考文献の参照方法について

　各分野の慣行に従った方法１）で行って下さい。この例では、文献番号を振る方法を用いています。

　また、参考文献の記載には、指定された種類の文字２）・段組3)を使用して下さい。

０－１２　欧文抄録について

　本文が日本語である場合は、欧文抄録を作成して下　さい（投稿規程第７条参照：第７条(2) 提出論文は、原則として英語、独語、仏語などの主要外国語のいずれかによる標題、著者名および150語前後の摘要をつける。但し、外国語で書かれたものは、その必要はない。）。書式は、下記の例を参照して下さい。抄録本文は、１段組で記載し、原則として、両端揃え(justification)とし１単語が行を跨る場合には、慣用にしたがってハイフォン(-)でつないで下さい。

　また、改ページをせずに論文部と同じページに記載する場合は、論文部との間に空白行を２行設けて下さい。

０－１３　キーワードについて（Ａ分冊では必須）

　No.42(2006)より、Ａ分冊では欧文抄録より１行空白行を置いて、キーワードを記載することとなりました。書式は下記の例を参照して下さい。キーワードが普通名詞の場合には全て小文字、固有名詞の場合には先頭は大文字として下さい。

０－１４　外国語の論文の場合の留意事項

　論文部を１段組または２段組で記載する他は、上記の欧文抄録と同じです。章題や図・写真・表に関する事項は日本語の場合と同じです。

１．章題［ゴシック／普通／９ポイント］

１－１　項目題［明朝／普通／９ポイント］

　本文をここに入力して下さい。

１－２　項目題

　本文をここに入力して下さい。

１－３　項目題

　本文をここに入力して下さい。

１－４　項目題

　本文をここに入力して下さい。

１－５　項目題

　本文をここに入力して下さい。

２．第２章の章題

２－１　項目題

　本文をここに入力して下さい。

２－２　項目題

　本文をここに入力して下さい。

２－３　項目題

　本文をここに入力して下さい。

２－４　項目題

　本文をここに入力して下さい。

２－５　項目題

　本文をここに入力して下さい。

３．第３章の章題

３－１　項目題

　本文をここに入力して下さい。

３－２　項目題

　本文をここに入力して下さい。

３－３　項目題

　本文をここに入力して下さい。

３－４　項目題

　本文をここに入力して下さい。

３－５　項目題

　本文をここに入力して下さい。

４．第４章の章題

４－１　項目題

　本文をここに入力して下さい。

４－２　項目題

　本文をここに入力して下さい。

４－３　項目題

　本文をここに入力して下さい。

４－４　項目題

　本文をここに入力して下さい。

４－５　項目題

　本文をここに入力して下さい。

参考文献

1) 扇元啓司・伊藤敞敏：学術情報の上手な仕上げ方，川島

書店(1994)

2) 明朝／普通／８ポイント[本文が欧文の場合:Century,

　 Roman, Times Roman, Times New Roman / 8 pt]

3) １段組または２段組

4) 著者：書名, 出版社(出版年)

5) 著者：論題, 雑誌名, 巻, 号, pp開始頁-終了頁(出版年)

Title[Century, Roman, Times Roman, Times New Roman /16 pt / Centering / Boldface]

－Subtitle[Century, Roman, Times Roman, Times New Roman / 14 pt / Centering]－

Author name, 2nd author1), 3rd author[same above / 12 pt / Centering]1),

4th author2), 5th author2) and 6th author3)\*

*Department of Applied Mathmatics, Faculty of Science[Italic / 9 pt / Centering],*

*1) Graduate School of Science,*

*2) Department of Mathematical Information Science, Faculty of Informatics,*

*3) Department of Information & Computer Engineering, Faculty of Engineering,*

*Okayama University of Science,*

*1-1 Ridai-cho, Kita-ku, Okayama 700-0005, Japan*

Please read the section 0-12 “Foreign language abstract” at first. Use the font : Century, Roman, Times Roman or Times new Roman / the size : 10 pt / justification here.

**Keywords:** word1; word2; word3(font は抄録部と同じ / Size : 10 pt / 普通名詞の場合すべて小文字 / 固有名詞の場合には先頭は大文字 / 最後のキーワードの後ろにピリオドを付す); word4.